



第198回例会 1963.5.14 (火) 晴

例会場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)

事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

○出席報告

本日の出席者
 出席数 35名 欠席者
 出席率 77.08%
 三浦君、五十嵐(三)君、広瀬君、五十嵐(伊)君、今間君、金井(勝)君、大野君、齋藤(栄)君、佐藤(仁)君、菅原君、吉村君

前回の修正出席数 0名
 修正出席率 87.50%

○司 会 会 長

○ソ ン グ 奉仕の理想 リーダー 安藤君

○ビジター

大竹 鑑一郎君 (新庄R.C.)
 加藤 勇君 (酒田R.C.)
 前田 良太君 (ク ク)

○連絡事項

来る26日(日)酒田、鶴岡ロータリークラブ合同の家族会の開催。多数の御参加下さる様申込願います

1. 日 時 5月26日(日)
1. 集合場所 商工会館前 午前9時30分 (貸切バス) 出発
1. 行 先 羽黒山詣り
 12時より太々神楽奉奏
 午後1時より齋館にて昼食
1. 帰 途 午後2時30分山頂発 (貸切バス)

1. 参加会費 イ 会 員 1,000円
 ロ 夫人成人家族 800円
 ハ 小中学生 300円

○『ロータリーの会員はよき市民の模範となるべきです』

真に公共精神に富んだ市民が役員選挙に立候補すると発表した場合、それは大変良いこととしてクラブの報告書にかゝれます。手引の中に書かれてありますように、一個人を成功させるよう援助した結果として、その人が社会的な地位についた後、今度はその立場から彼自身が社会に奉仕すれば、間接的であつても社会奉仕の立派な一例となるのです。よりよき市民になる為の手引がカードとして出来ました。『よき市民となる為の十訓』第四項には『彼は他の人々が彼にしてくれた事を感謝し、自分の住んでいる社会が将来に於てより進歩する為に責任を持ちます』と書かれています。このカードは事務所の方に1部75セントで売つて居ります。もしまとめて御注文ならば1部50セントでお分けます。

○『国際的家庭の接触が大変盛んになつて来た」と認められている』

過去2年間に亘つてアムステルダム・ナザレのロータリー会員は、他の会員達や家族を招き親睦会を定期的に行きました。そこに集まつたほとんどの人々は外国から来られたのです。こうした会を催すという事は、訪問者を主催者が親しくなるということばかりでなく、外国の会員と近づきになるよい機会になる訳です。この親睦会

は普通の定期的会合と違い、たゞ単に出席したという証明をもらう丈ではなく、国際的に人と人との交りを深める機会であることをクラブにたゞさわつている人々に強調する心があります。

○『クラブ報告は詳細にする必要があります』

事務所は世界中のロータリークラブから何千という報告を受取つて居りますが、その中の多くのものは明細ではありません。これらの報告は、クラブの出版物を通して情報活動、計画等を交換し合う為に読まれるものなのです。それには、もつと詳しい情報と必要な事がよくあります。それでクラブと連絡する時には、はつきりと日付、名前、区域)、国名等を書き入れていただきたいのです。

○『世界公共奉仕の為に必要なクラブ計画』

あるロータリークラブは、世界公共奉仕の計画として教育のない人達のこと、又色々な他の社会問題ととりくみ、これらの活動のうちのある部分的な事は4月に全クラブに発送された世界公共奉仕質問書の中にもものせられてあります。

二三の働きを例に上げてみると、ニュージャージー州のケエニール・ウオースとロゼリー・ロロゼリパークのロータリークラブは軍に願い出てフィリッピン共和国のタグムとミンダナオに診療所を立てました。今日迄にこれらのクラブは2つの建物を建てる為に必要な凡ての設備を寄附しました。ベッド60、車輪のある担架(ベッドになる)そして必要な道具、建材、現金、セメント、ミキサー等、薬品は或る製薬会社が寄附するとの約束で、色々な物をフィリッピンに運搬する費用も取らないようにしてくれました。

サンタ・アンナのロータリークラブでは、教育のない人達の為にエルサルバドルに学校を建てる計画をして居ます。又インディアナ州のインディアナポリスのロータリークラブはエルサルバドルを尋ね学校を視察し、本、用紙、黒板、鉛筆、その他の教材の必要性を知り、それらを4ヶ所の学校に送りました。インドのアナンダロータリークラブでは学校の為に教材を支給する役割をして居りますが、今だに教材の不足が甚だしいとの報告を受けています。

ある一つのクラブから調査書の答えとして、住んでいる無学文盲の人々の状態に対して絶えず気を配つて居るという報告がありました。他のクラブは現在のところ何の反応もありませんが、国際的計画に基づいての会員の協力のもとに、その運動に加わりたいと願つて居るようです。

第三番目のクラブは市の数ヶ所に夜学を設けるという計画を企てたと云つております。この計画は会員達がこれらの運動の一助になるように押進められております。

国際ロータリークラブ委員達は全世界にわたつてのクラブ活動に協力するように助力すべき事柄を研究し[Book of needs] (必要な本)に掲載される前に色々と研究、検討する権限があるのです。簡単に云えば[Book of needs] (必要な本)はクラブの会員達によつて必要だと認められた事柄を選んで詳細に編集されたものです。この本が出版されるとロータリークラブがその本の中に記載されている計画で(クラブが必要としている範囲内でならば)何事をも協力を惜しまないようになつて居るのです。引續いて[Book of needs] (必要な本)のために色々と必要なくわしい事を調べなければなりません。

あるクラブは自分達が援助を必要としている問題を提出した為、第二回目の質問書(返信)を受け取ることがありますが、それに対して色々答えなければならぬということですが、出来る丈詳しく説明して下さつた方が本を編集する時に大変助けになるので、面倒でも本の作成とその結果の具体化の為にクラブ内での世界公共奉仕の一助として御協力して下さいと思います。

○幹事報告

○会報到着 東京、仙台東、八戸、弘前東、湯沢各R・C

○次年度役員通知 釜石R・C

○ニコニコ箱

長谷川君	おくさん誕生
伊藤君	早退、遅刻
張君	遅刻
小花君	音楽会の盛況に感謝

○本日の献立

刺身、鯛、焼物 大魚みそ漬 出、みそ汁 鯛 わらび